

SSTK

発行 ならしの地域で生きる会

ふらっと

ならしの地域で生きる会は、
障害のある子も、障害のない子も
共に地域で学び、働き、
生活できることを願い
活動しています。

NO. 39

もくじ

地域でそだつこと...	2	県教委教職員交渉報告 8/8	3
県教委交渉報告 9/14	4	障害児教育・対県交渉報告 9/1	5
相談事業セミナー報告	6	ノーマライゼーション相談事業	7



— 1 —

(山本智子)

地域でそだつこと・・・

「拓ちゃん、どうしてる?!」・・・拓也がこの春中学を卒業し、昼は石陶房、夕方から習志野高校という生活を送るようになり、平日の日中はほとんどこれまでの「エリア」で活動していないせいか、知人、友人に会うとほぼこのことを尋ねられます。その都度、拓也の今の状況をお話するのだけど「拓ちゃん、がんばってるんだね〜」「心配してたけど元気そうだね。」「顔みたいなあ。また身長伸びた?」などと暖かい言葉をどの方も返して下さる。こんな時にいつも「ここで（地域で）育って本当によかった。」と喜びをかみしめています。

つい最近、拓也と二人買い物をしている時、小、中学校と大変お世話になった方と偶然お会いする機会がありました。「(拓也の顔を見ながら)大きくなったねえ!ママは後ろに立つと完全に隠れちゃうわねえ…」と声をかけて下さった。私がお礼と高校生活のこと等近況を話すと「頑張ってるんだね。ママもずっと頑張ってるから今があるんだよ。これからが楽しみだね〜」と返して下さいました。その方と別れた後も、じんわりと暖かな気持ちが何度もこみあげてきました。

「頑張ってるから」…そんな風に言われると、今までしてきたこと、進んできた道が間違っていなかったと肯定されたような…そんな気持ちになる。大変な時も、嫌なことも「それなりに」あったけれど、これからは頑張っていこうとあらためて強く思うことができました。

「こんばんは!お久しぶりです」と声をかけられ振り向くと、拓也が中2、3の時優しく接してくれたクラスメイトの男の子でした。「うわあ、びっくりした!大人っぽくなったねえ!一瞬誰かと思っちゃったよ」と私が話すと、照れたように笑いながら「拓、久しぶり!元気だった?」と拓也に話しかけてくれました。拓也は自分の買いたいアイス探しに夢中で(?!)「元気」と答えただけなのですが、さすが元クラスメイト!拓也のそんな反応にも慣れたもので、にっこり笑いながら「またね〜」と去っていきました。何気ないやり取りの中に、今まで拓也を育ててきた、中学校生活の一部が垣間見えたような…うれしい気持ちになりました。

普通学級で過ごせば地域の中で育っていると、学区の学校に行かなければ友達はできないとか…そんなことは絶対に言えないと思います。幼稚園、義務教育の期間は長い人生の中でほんの「一瞬」なのかもしれません。中学校を卒業して、活動の幅が広がったときに、「今、どうしているか」と気にかけて下さる、そんな人達がどれだけ周りにいるのか…そのことが何よりも大切なのではないのでしょうか?私達親子は、幸いにも地域で暖かく見守って下さる方達に恵まれ、また新しく高校の先生方、クラスメイト、石陶房のスタッフや仲間に出会うことができました。このことをただの「ラッキー」で済ますのではなく、感謝しながら毎日を過ごしたいと思っています。

(大原 由加里)